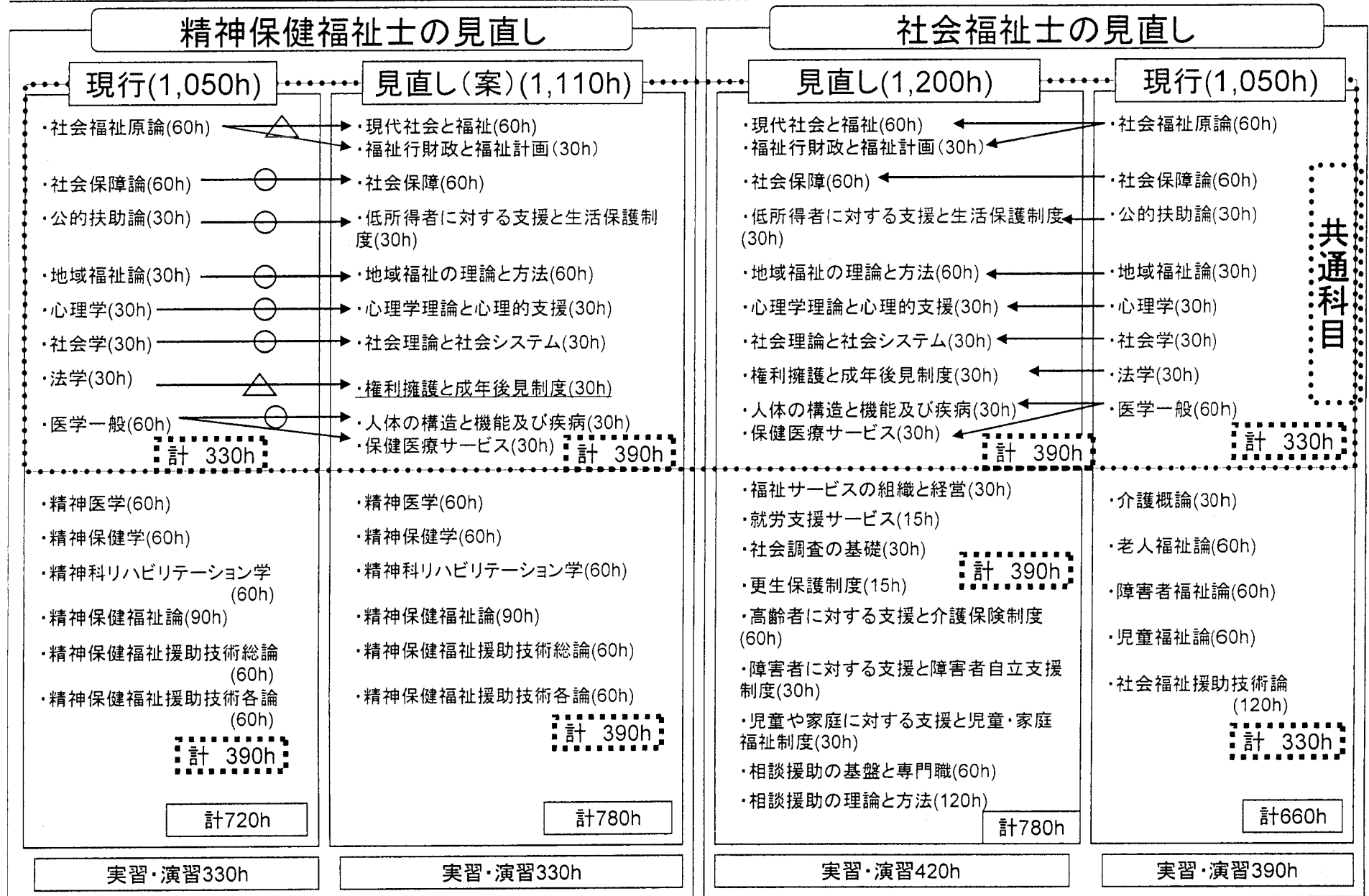


# 精神保健福祉士と社会福祉士の 共通科目案について

# 精神保健福祉士のカリキュラムと社会福祉士におけるカリキュラムの見直し(共通科目関係)



共通科目

※ 矢印上にある印のうち、○印は共通科目として位置づけることが妥当である科目。△印は条件付きで共通科目として位置づけることが必要な科目。

# 精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

社会福祉原論(現行)	
目標	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代社会における社会福祉の理念と意義について理解させる。</li> <li>2 社会福祉の対象と援助の形態及び方法について、老人や障害者を中心に介護との関係に十分留意させつつ理解させる。</li> <li>3 社会福祉サービス体系の概要について理解させる。</li> <li>4 社会福祉の専門性と倫理について理解させる。</li> <li>5 社会福祉関係職種の内容について理解させる。</li> <li>6 社会福祉の法体系、実施体制及び財政全体の概要について理解させる。</li> <li>7 社会福祉を巡る我が国及び諸外国の動向について理解させる。</li> </ol>	
内容	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代社会と社会福祉                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 社会福祉理念の発達</li> <li>2) 概念と範囲</li> <li>3) 役割と意義</li> </ol> </li> <li>2 社会福祉対象の把握方法</li> <li>3 社会福祉援助の具体的な形態と方法</li> <li>4 社会福祉援助活動における専門性と倫理                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 精神保健福祉士法の意義と内容</li> <li>2) 社会福祉士及び介護福祉士法の意義と内容</li> <li>3) 社会福祉専門職及び機能専門職の専門性と内容</li> <li>4) 保健・医療等関連分野の専門職と連携のあり方</li> <li>5) 社会福祉援助活動と倫理</li> </ol> </li> <li>5 社会福祉関係法制と実施体制及び財政の概要                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 社会福祉事業法・福祉六法及び関連法規の内容及び関係</li> <li>2) 社会福祉の実施体制</li> <li>3) 社会福祉の財政と費用負担</li> <li>4) 介護保険と社会福祉の関係</li> </ol> </li> <li>6 社会福祉を巡る我が国及び諸外国の動向</li> </ol>	

現代社会と福祉(見直し案)	
ねらい	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。</li> <li>・ 福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。</li> <li>・ 福祉政策におけるニーズと資源について理解する。</li> <li>・ 福祉政策の課題について理解する。</li> <li>・ 福祉政策の構成要素(福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を含む。)について理解する。</li> <li>・ 福祉政策と関連政策(教育政策、住宅政策、労働政策を含む。)の関係について理解する。</li> <li>・ 相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。</li> </ul>	
含まれるべき事項	
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 現代社会における福祉制度と福祉政策</li> <li>② 福祉の原理をめぐる理論と哲学</li> <li>③ 福祉制度の発達過程</li> <li>④ 福祉政策におけるニーズと資源</li> <li>⑤ 福祉政策の課題</li> <li>⑥ 福祉政策の構成要素</li> <li>⑦ 福祉政策と関連政策</li> <li>⑧ 相談援助活動と福祉政策の関係</li> </ol>	

福祉行財政と福祉計画(見直し案)	
ねらい	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉の行財政の実施体制(国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む。)について理解する。</li> <li>・ 福祉行財政の実際について理解する。</li> <li>・ 福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する。</li> </ul>	
含まれるべき事項	
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 福祉行政の実施体制</li> <li>② 福祉行財政の動向</li> <li>③ 福祉計画の意義と目的</li> <li>④ 福祉計画の主体と方法</li> <li>⑤ 福祉計画の実際</li> </ol>	

→ 社会福祉士の見直しにおいては、「相談援助の基盤と専門職」の新科目を設定  
 現行の非共通科目「精神保健福祉援助技術総論」において整理を検討

# 精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

社会保障論(現行)	社会保障(見直し案)
目標	ねらい
1 現代社会における社会保障の理念と意義について理解させる。 2 社会保障制度の体系について理解させる。 3 社会保障の各制度の概要について理解させる。 4 我が国の年金保険について熟知させる。 5 我が国の医療保険について熟知させる。 6 我が国の介護保険について熟知させる。 7 我が国の民間保険の概要と公的施策との関係について理解させる。 8 社会保障の実施体制及び専門職について理解させる。	・ 現代社会における社会保障制度の課題(少子高齢化と社会保障制度の関係を含む。)について理解する。 ・ 社会保障の概念や対象及びその理念等について、その発達過程も含めて理解する。 ・ 公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。 ・ 社会保障制度の体系と概要について理解する。 ・ 年金保険制度及び医療保険制度の具体的内容について理解する。 ・ 諸外国における社会保障制度の概要について理解する。
内容	含まれるべき事項
1 現代社会と社会保障 1) 社会保障理念の発達 2) 概念と範囲 3) 役割と意義 2 社会保障制度の体系 3 社会保障を構成する各制度の目的、対象、給付内容及び財源の概要 1) 年金保険 2) 医療保険 3) 労災保険 4) 失業保険(雇用保険) 5) 家族手当(児童手当) 6) 公的扶助 7) その他関連制度 4 我が国の年金保険制度とその具体的内容 1) 国民年金 2) 厚生年金 3) 各種共済組合の年金 4) 障害基礎年金 5 我が国の医療保険制度とその具体的内容 1) 国民健康保険 2) 健康保険 3) 各種共済組合の医療保険 6 我が国の介護保険とその具体的内容 7 公的施策と民間保険 1) 公的施策との関係 2) 現状 8 社会保障の実施体制及び専門職	① 現代社会における社会保障制度の課題(少子高齢化と社会保障制度の関係を含む。) ② 社会保障の概念や対象及びその理念 ③ 社会保障の財源と費用 ④ 社会保険と社会扶助の関係 ⑤ 公的保険制度と民間保険制度の関係 ⑥ 社会保障制度の体系 ⑦ 年金保険制度の具体的内容 ⑧ 医療保険制度の具体的内容 ⑨ 諸外国における社会保障制度の概要

# 精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

公的扶助論(現行)	低所得者に対する支援と生活保護制度(見直し案)
目標	ねらい
1 現代社会における公的扶助の理念と意義について理解させる。 2 生活保護のしくみと近年の動向について理解させる。 3 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について理解する。</li> <li>・ 相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について理解する。</li> <li>・ 自立支援プログラムの意義とその実際について理解する。</li> </ul>
内容	含まれるべき事項
1 現代社会と公的扶助 1) 公的扶助理念の発達 2) 概念と範囲 3) 役割と意義 2 低所得問題対策の概要 3 生活保護制度のしくみ 1) 目的 2) 基本原理 3) 保護の原則 4) 保護の種類と内容 5) 保護の機関と実施体制及び財源 6) 保護施設の種類 7) 被保護者の権利及び義務 4 生活保護の最近の動向 5 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方 1) 組織・専門職 2) 連携のあり方	① 低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要と実際 ② 生活保護制度 ③ 生活保護制度における組織及び団体の役割と実際 ④ 生活保護制度における専門職の役割と実際 ⑤ 生活保護制度における多職種連携、ネットワーキングと実際 ⑥ 福祉事務所の役割と実際 ⑦ 自立支援プログラムの意義と実際 ⑧ 低所得者対策 ⑨ 低所得者への住宅政策 ⑩ ホームレス対策

# 精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

地域福祉論(現行)	地域福祉の理論と方法(見直し案)
目標	ねらい
1 地域福祉の理念と内容について理解させる。 2 地域福祉の推進方法について理解させる。 3 地域福祉の現状について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉の基本的考え方(人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等を含む。)について理解する。</li> <li>・ 地域福祉の主体と対象について理解する。</li> <li>・ 地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。</li> <li>・ 地域福祉におけるネットワーキング(多職種・多機関との連携を含む。)の意義と方法及びその実際について理解する。</li> <li>・ 地域福祉の推進方法(ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む。)について理解する。</li> </ul>
内容	含まれるべき事項
1 現代社会におけるコミュニティと地域福祉 2 現代社会と地域福祉 1) 地域福祉理念の発達 2) 概念と範囲 3) 役割と意義 3 地域福祉の構成 4 地域福祉の推進方法 1) 推進の基本的な考え方 2) 公私関係及び役割分担 3) サービス提供組織とその運営方法 4) マンパワーの構成及びその動員方法 5) 財源の構成とその調達の方法 6) 地域福祉推進の具体的な組織、団体、専門職及びその連携のあり方 5 地域福祉の現状	① 地域福祉の基本的考え方 ② 地域福祉の主体と対象 ③ 地域福祉に係る組織、団体及び専門職や地域住民 ④ 地域福祉の推進方法

# 精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

心理学(現行)	心理学理論と心理的支援(見直し案)
目標	ねらい
1 心理学の概要を理解させる。 2 乳幼児期・児童期・青年期・老年期等人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴について理解させる。 3 心理学理論による人間理解とその技法の基礎について理解させる。 4 心理学的援助技法の概要について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心理学理論による人の理解とその技法の基礎について理解する。</li> <li>・ 人の成長・発達と心理との関係について理解する。</li> <li>・ 日常生活と心の健康との関係について理解する。</li> <li>・ 心理的支援の方法と実際について理解する。</li> </ul>
内容	含まれるべき事項
1 <u>人間の心理学的理解</u> 1) 欲求・動機づけと行動 2) 感情・情動 3) 感覚・知覚・認知 4) 学習・記憶・思考 5) 知能・創造性 6) 人格 7) 適応と適応異常 2 <u>人間の成長・発達と心理</u> 3 <u>人間理解のための心理学理論と技法</u> 1) 基礎理論 ① 精神分析 ② 行動分析 2) 測定と診断 ① 発達 ② 知能 ③ 性格 4 <u>心理学的援助技法の概要</u> 1) 心理療法(個別面接法・集団面接法) 2) 家族心理療法 3) 行動療法	① 人の心理学的理解 ② 人の成長・発達と心理 ③ 日常生活と心の健康 ④ 心理的支援の方法と実際

# 精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

社会学(現行)	社会理論と社会システム(見直し案)
目標	ねらい
1 現代社会の特質について理解させる。 2 現代社会における家族や地域社会の特徴について理解させる。 3 現代社会における社会問題について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会理論による現代社会の捉え方を理解する。</li> <li>・ 生活について理解する。</li> <li>・ 人と社会の関係について理解する。</li> <li>・ 社会問題について理解する。</li> </ul>
内容	含まれるべき事項
1 経済社会の変化と国民の生活及び意識の変化 2 現代社会と科学技術 1) 科学技術の展開 2) 現代社会と科学技術 3) 情報化社会と国民生活 3 現代社会と専門職 4 現代社会における家族 1) 構造及び形態 2) 機能 3) 変化 4) 家族と地域社会 5 現代社会における地域社会 1) 都市化と地域社会 2) 過疎化と地域社会 3) 地域社会の社会集団・組織 6 現代社会における社会問題	① 現代社会の理解  ② 生活の理解  ③ 人と社会の関係  ④ 社会問題の理解



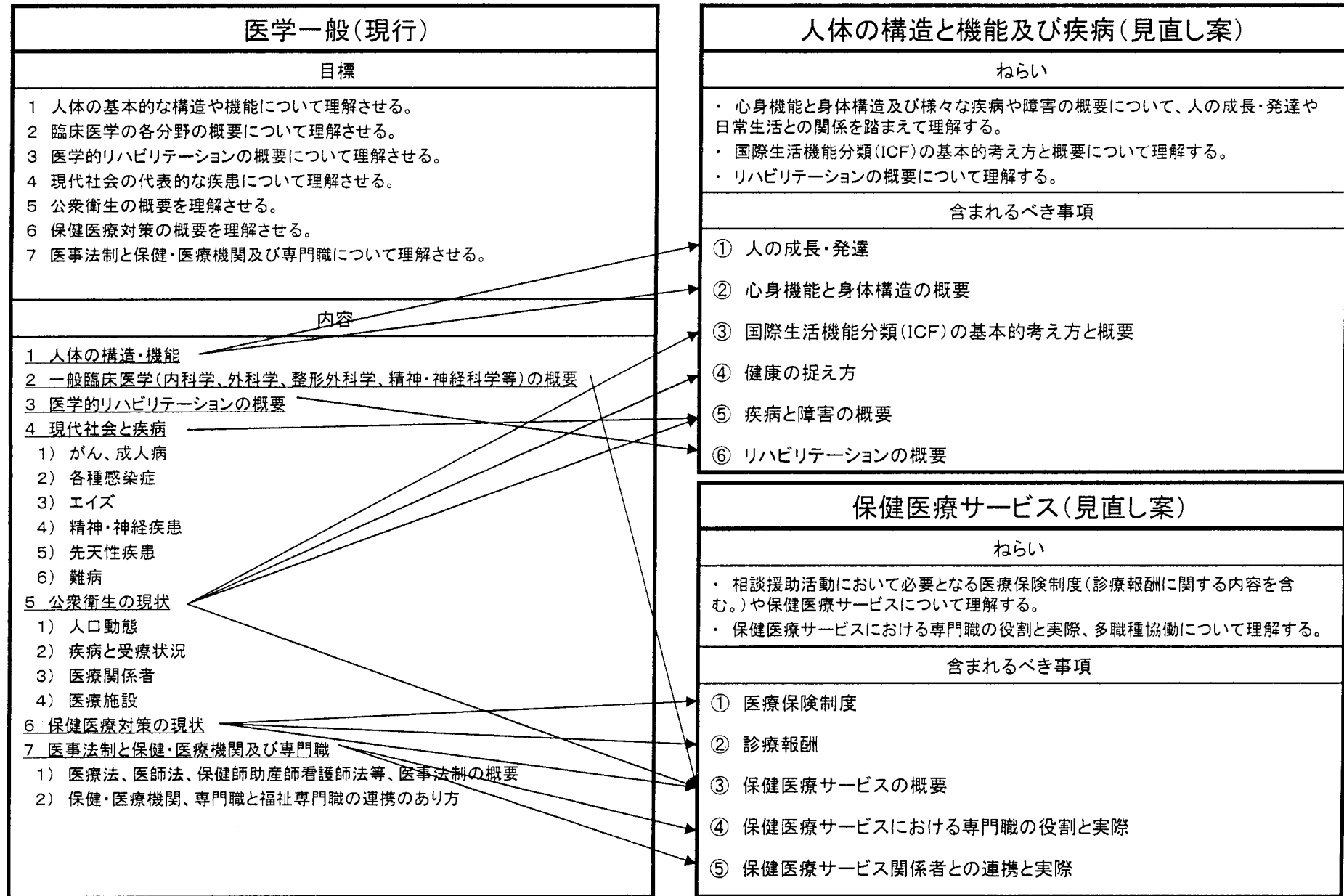
# 精神保健福祉士の共通科目の見直しについて

法学(現行)	
目標	
1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。	
内容	
1 社会生活と法 2 憲法 1) 基本原理 2) 基本的人権 3) 地方自治 3 民法 1) 総則 2) 物権 3) 契約 4) 不法行為 5) 親族 6) 相続 4 行政法 1) 行政行為 2) 行政不服審査 3) 行政訴訟 4) 行政手続き 5) 地方行政組織	

権利擁護と成年後見制度(見直し案)	
ねらい	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談援助活動と法(日本国憲法の基本原理、民法・行政法の理解を含む。)との関わりについて理解する。</li> <li>・ 相談援助活動において必要となる成年後見制度(後見人等の役割を含む。)について理解する。</li> <li>・ 成年後見制度の実際について理解する。</li> <li>・ 社会的排除や虐待などの権利侵害や認知症などの日常生活上の支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について理解する。</li> </ul>	
含まれるべき事項	
① 相談援助活動と法(日本国憲法の基本原理、民法・行政法の理解を含む。)との関わり  ② 成年後見制度  ③ 日常生活自立支援事業  ④ 成年後見制度利用支援事業  ⑤ 権利擁護に係る組織、団体の役割と実際  ⑥ 権利擁護活動の実際	

→ 現行の法学において教授していない内容であるが、精神保健福祉論において、教授している。

# 精神保健福祉士の共通科目の見直しについて



(参考) 第1回検討会資料

精神保健福祉士のカリキュラムと社会福祉士におけるカリキュラムの見直し(共通科目関係)



共通科目

※ 矢印上にある印のうち、○印は共通科目として位置づけることが妥当である科目。△印は条件付きで共通科目として位置づけるが必要な科目。

## 平成21年4月施行分スケジュール(案)

平成20年3月13日  
第2回検討会

・平成21年4月施行分(社会福祉士との共通科目)を検討

平成20年3月  
第2～3週

・第2回検討会での議論を踏まえ、座長・事務局にて調整  
・並行して、省令、告示、通知案作成作業

平成20年3月～4月

共通科目関係各省令、告示等パブリックコメント

平成20年4月中

・パブリックコメントの意見を踏まえた調整作業  
・公布

平成21年4月

・新カリキュラム施行